

「ユニフォームでたどる看護職の歴史」

本学附属看護博物館は、大学開学 15 周年記念事業の一環として、県内各地の皆様からご提供いただきました看護に関する貴重な資料をもとに、平成 24 年5月8日に開設しました。この度、看護博物館の第6期展示として「ユニフォームでたどる看護職の歴史」をテーマに資料を展示します。

看護職のユニフォームは、機能的・デザインの両面で進化を続けてきました。展示では、写真や医療機関・教育機関で実際に使用されたユニフォームから、明治から平成までの看護職者の歴史をご紹介します。これらの展示を通して、看護職者の世界について、わずかでも皆様を知っていただけることを願っております。

《展示品リスト》

【展示ケース1】 明治～大正

- ・各種アルバム(明治～大正)

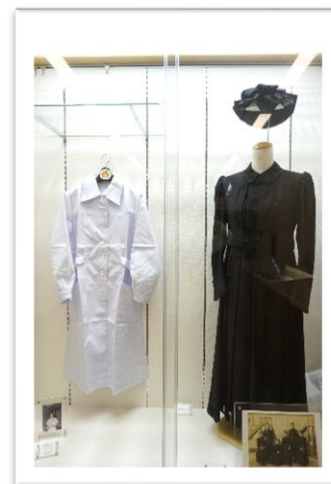
【展示ケース2】 昭和(戦前～戦中)

- ・写真(集合写真・昭和9年)
- ・写真(昭和9年)
- ・写真(卒業記念アルバムから抜粋)
- ・卒業記念アルバム(東洋紡績株式会社附属看護婦学校・昭和16年)



【展示ケース3】 制服・ユニフォーム

- ・看護婦学校制服 (昭和7～8年)
当時の宇治山田市医師会附属内務省指定私立三重看護婦学校の制服
- ・看護師制服・キャップ (昭和63年頃)
最近では病院で見かけることなくなったナースキャップとワンピース型の制服



【展示ケース4】 昭和(戦後)

- ・写真(病院設立時記念) (昭和 22 年)
- ・写真(公衆衛生院玄関前 ミス・オルソンとともに) (昭和 22 年)
- ・写真(第 50 回甲種救護看護婦卒業記念) (昭和 22 年)
- ・写真(看護学校卒業式) (昭和 41 年)

【展示ケース5】 平成

- ・ナース服(ワンピースタイプ) (平成元年、平成3年)
- ・ナース服(実習衣)とその写真(三重県立看護大学卒業アルバムより・平成 13 年)
- ・ナース服(パンツタイプ)とその写真(平成 31 年)

現代の看護師ユニフォームは、動きやすさを重視したパンツスタイルが多く、ワンポイントの柄や、カラフルな色のユニフォームも増えている。